

第1章 はじめに

- ・安全で安心して暮せるまちづくりに係る社会経済情勢の変化
- ・安全・安心まちづくり小委員会の設置と検討の経緯

第2章 安全で安心して暮せるまちづくりの実現に向けた枠組みの構築 ～「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の作成・活用～

- ①「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の概要と作成の意義
- ・「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の概要  
都市に関する情報と関連付けながら災害リスク情報を重ね合わせ、分析した結果を可視化し、横断的・体系的に都市の課題を把握
  - ・「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の作成の意義  
抽出された都市の課題について、関係各主体の連携のもと、自助・共助・公助の取組みを総合的・体系的に推進、行政として活用するとともに地域社会で広く共有

- ②「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の具体的活用イメージ
- ・都市における課題の抽出と対応策の検討  
防災面からみた都市の課題が抽出され、その解決に向け、有効な対応策の検討を行うことが可能
  - ・安全で安心して暮せるまちづくりの観点からの都市の将来像の検討  
リスクの高いところを避けて都市機能を集約するなど、集約型都市構造への誘導等に向けた都市の将来像を展望することが可能

- ③「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の作成・活用に係る課題
- ・まちづくりに利用しやすい災害リスク情報の整備・提供  
作成に当たっては、各種リスク情報がまちづくりに活かしやすい情報として整備・提供されることが重要
  - ・「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の普及等  
国において、「防災まちづくり情報マップ(仮称)」の作成方法を示した指針や具体的な活用方法を示した事例集等を整備することが必要
  - ・災害リスク情報の効果的な周知  
利用者にとって分かりやすい説明を付して提示することが必要。日常生活の中で災害リスク情報を身近に目にする機会を設ける工夫が重要

第6章 おわりに

- ・安全で安心して暮せるまちづくりの展開に向けて
- ・引き続き検討が必要と考えられる事項

第3章 震災・水害等に強いまちづくり施策の展開

1. 震災対策

- ①都市防火区画の整備
- ②骨格となる道路等の整備
- ③密集市街地対策
- ④歴史的な景観を有する市街地等の対策
- ⑤大規模盛土造成地対策
- ⑥活断層対策等

2. 水害対策

- ①市街地における浸水を防止する対策  
・市街地における貯留浸透機能の向上  
・農地等の保水・遊水機能の活用・保全
- ②市街地における浸水から生命・財産の安全を確保する対策  
・建物の耐水化等  
・浸水被害を受けやすい地域における宅地等の利用の回避  
・安全・確実な避難

③浸水に係る災害リスク情報の活用

3. 総合的な災害対策の考え方

- ・土砂災害対策
- ・雪害対策
- ・施策展開に当たっての留意点

第4章 市街地復興に関する事前準備

- ・市街地復興に関する準備計画の策定

第5章 地域力による安全性の向上

- ①災害対応力の維持・強化のための人材確保に向けた工夫
- ②きめ細かなリスク情報の共有と都市空間の改善に資する活動への展開
- ③地域の分野横断的活動に対応した行政の体制づくり等の環境整備